

# 棚田に吹く風

2020  
冬  
Winter  
季刊



## 2 特集

棚田地域振興法ってなに？

5 フォトエッセイ  
大地の四季

6 棚田・里山からのたより  
大井谷の灯～地域に希望のあかりを灯す  
島根県鹿足郡吉賀町柿木村白谷 大井谷の棚田

8 ヨネちゃんの ニッポン全国  
棚田オーナー制度紹介(最終回)  
拡げよう 棚田で社会貢献

9 棚田博士は今日も行く  
和泉山地北麓 日根野荘の棚田  
大阪府泉佐野市上大本

12 会員のひろば

14 エコプロ2019出展レポート

15 Project Report

# 棚田地域振興法ってなに？

棚田地域振興法ができたのは嬉しい！でも結局どんな法律なの。棚田地域にとってどんな利点があるの？という多くの声にお応えして、今号は農林水産省 黒田裕一さんに振興法の解説をしていただきました。

令和元年6月12日に、議員立法による「棚田地域振興法」が衆参両院の全会一致をもって可決・成立し、8月16日に施行されました。本稿では棚田地域振興法（棚田法）についてご紹介いたします。

## 棚田法制定の経緯

平成30年5月、棚田支援のための議員立法検討のため、自民党に「棚田支援に関するPT」（棚田PT）が設置されました。有識者や保全団体の代表者等からのヒアリング等を踏まえ、論点を取りまとめました。主なポイントは次のとおりです。

- 棚田は日本の宝であるとのメッセージを立法措置により示す。
- 棚田の景観、文化的価値、自然環

境など棚田を核とした「地域振興」を図るといった視点の立法措置とする。

○棚田を守るためには、多角的なアプローチが不可欠で、各省横断的な支援枠組みを構築する。

この論点を基に、棚田PTにおいて法案化が進められ、超党派の棚田振興議員連盟において、関係各党との調整が進められました。

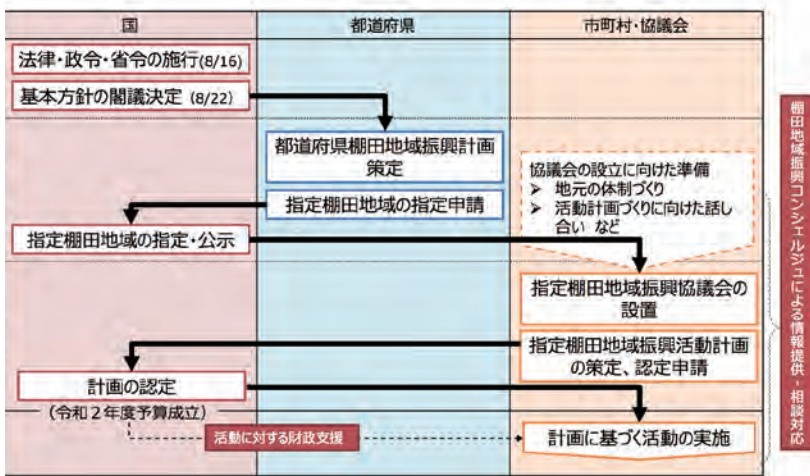
その結果、6月5日の衆議院農林水産委員会において、法案が自民、立憲、国民、公明、維新の5会派の共同提案として提出されました。

## 棚田地域振興法の概要

### ① 趣旨・目的等

本法律は、市町村を含む多様な主

棚田地域振興法に関する主な流れ





# 棚田地域振興法ってなに？

体からなる「指定棚田地域振興協議会」（協議会）による、農業活動にとどまらない、移住促進、文化の継承、観光促進、自然環境保全など棚田を核とした幅広い活動を、関係府省庁横断で総合的に支援するものです。このため、内閣府、総務省、文部科学省、農林水産省、国土交通省、環境省の6府省が共管し、内閣府が主管となっています。

法律の名称もからわかるように、棚田の保全だけでなく、棚田地域の振興を目的とするものです。これは、棚田が荒廃の危機に直面している背景には、人口減少や高齢化があり、農業生産活動に着目した支援だけでは荒廃を防ぐことは難しく、棚田を含む地域の振興を図ることが重要であるとの問題意識によるものです。

## ② 基本的な枠組み

国が「棚田地域の振興に関する基本方針」を定め、この基本方針を勘案して都道府県は「都道府県棚田地域振興計画」を策定します。

その上で、支援の対象となる「指定棚田地域」を都道府県の申請に基

づき国が指定します。指定棚田地域は、政令で定める「棚田地域」の要件を満たす必要があります。棚田地域の要件は、昭和25年2月時点の市町村の区域で、その区域内に勾配1/20以上の一団の棚田が1ha以上あることとされています。

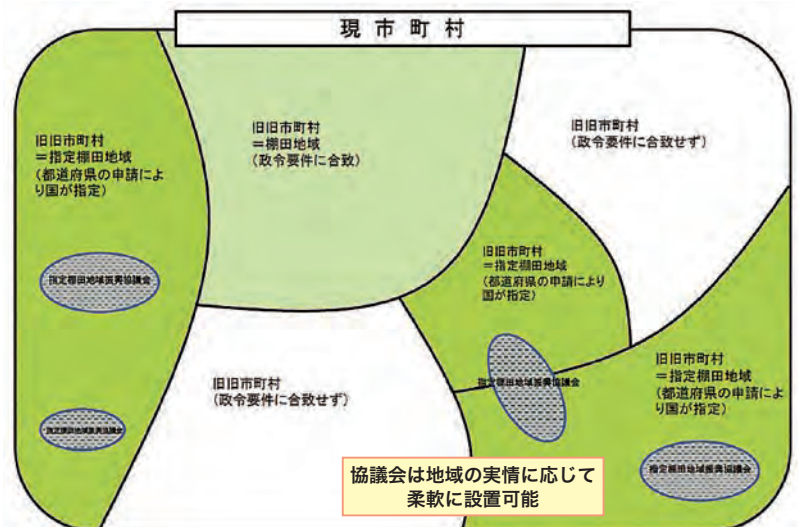
指定基準は、基本方針に定められています。一つは、社会経済情勢の変化と棚田の持つ多面的機能からみて振興を図る必要があるかどうか。二つ目は、地元の保全体制や地方公共団体の支援体制から活動の実現可能性があるかどうかです。

指定棚田地域において、市町村は、農業者、地域住民、NPO等からなる協議会を組織します。協議会が「指定棚田地域振興活動計画」を作成し、国の認定を受けることで財政支援が受けられます。

## ③ 支援措置等

国による支援は主に2つあります。一つは、国の職員から選任された「棚田地域振興コンシェルジュ」によるサポート。もう一つは既存施策における優遇措置です。国は、毎年、棚田地域の振興に資する事業を

### 棚田地域、指定棚田地域、協議会の概念図



※旧旧市町村とは、昭和25年2月1日時点の市町村

公表し、関係府省は必要に応じ、優遇措置を講じることとしています。コンシェルジュは、地元に近い出先機関の職員等及び関連施策の担当職員から選任され、現在440名が登録されています。

おわりに

棚田法は、棚田地域を関係府省横断で支援するという新たな試みです。中山間地域の中でも特に条件が不利な棚田地域は我が国の農村地域の課題を先取りした地域であり、この枠組みは、我が国の地域政策の一つのモデルになることが期待されます。今後、各棚田地域で早期に活動が進められるよう、農林水産省としても、関係府省、都道府県、市町村、地元関係者と連携・協力して取り組んでまいります。

棚田法に関する情報は内閣府地方創生推進事務局のホームページをご覧ください。

棚田地域振興関連予算一覧（令和2年度概算要求）

府県庁	事業	府県庁	事業
総務省	「地域経済循環の創造」の推進に要する経費	農林水産省	農山漁村振興交付金
総務省	過疎地域等自立活性化推進交付金	農林水産省	鳥獣被害防止総合対策交付金
総務省	地域おこし協力隊の推進に要する経費	農林水産省	多面的機能支払交付金
総務省	都市・農山漁村の教育交流による地域活性化推進に要する経費	農林水産省	農業農村整備関連事業
文部科学省	体験活動等を通じた青少年自立支援プロジェクト	農林水産省	地すべり対策事業
文部科学省	健全育成のための体験活動推進事業	林野庁	治山事業のうち地すべり防止事業
文化庁	文化的景観保護推進事業	林野庁	森林・山村多面的機能発揮対策交付金
文化庁	歴史活き活き！史料等総合活用整備事業	国土交通省	「小さな拠点」を核とした「ふるさと黒野生活圏」形成推進事業
文化庁	地域文化財総合活用推進事業（地域計画等）	国土交通省	景観改善推進事業
文化庁	地域文化財総合活用推進事業	国土交通省	地すべり対策事業
文化庁	日本遺産活性化推進事業	国土交通省	空き家対策総合支援事業
文化庁	伝統文化継承教室事業	国土交通省	空き家対策の担い手強化・連携モデル事業
農林水産省	食料産高・6次産業化交付金のうち「6次産業化施設整備」	観光庁	地域の観光資源を活用したプロモーション事業
農林水産省	持続的生産強化対策事業のうち生産体制・技術確立支援	観光庁	五域周辺観光促進のための観光地域支援事業
農林水産省	遠い農業・近い平づく総合支援交付金のうち産地基幹施設等支援タイプ	観光庁	地域観光資源の多言語解説整備支援事業
農林水産省	環境保全型農業直接支払交付金	観光庁(文化庁)	Living History(生きた歴史体験プログラム)事業
農林水産省	畜産生産力・生産体制強化対策事業のうち国産飼料資源生産利用拡大対策(内用牛・豚糞基盤強化対策(放牧活用型))	観光庁	訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業
農林水産省	農業経営法人化支援総合事業のうち農業経営法人化支援事業	観光庁	国際観光旅客税を活用した高次元な観光施策の展開
農林水産省	機械集積力金交付事業のうち地域集積力金交付事業	環境省	指定管理鳥獣捕獲等事業交付金
農林水産省	中山間地域等直轄支払交付金	環境省	生物多様性保全推進交付金(エコプリーズ)地域活性化支援事業
農林水産省	中山間地農業ルネッサンス推進事業	内閣府	地方創生推進交付金
		内閣府	地域活性化促進評議制度

寄稿者プロフィール  
 黒田裕一

農林水産省農村振興局地域振興課課長補佐。長門の棚田サミット自主分科会(P12参照)で振興法の解説をした松本氏が転出する前、ともに法案作成に心血を注いだ。今、本省でいちばんこの法律に詳しい。

内閣府地方創生推進事務局のホームページ <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/tanada/index.html>

◆ 棚田地域振興法のナイトセミナーを開催しました ◆



12月6日（金）、エコプロ展二日目の夜、黒田課長補佐を講師に迎えて棚田振興法の特別セミナー。参加者はブース出展している地域の方を中心に、エコプロ棚田コーナーの協力スタッフ、大学生や先生など。「できたばかりの法律、これから先例をつくっていく」「直接支払との兼ね合いも課題」等の解説に熱心に耳を傾けました。（写真の右側上が黒田裕一氏）





多依樹棚田



# 中国の棚田に見る 大地の四季

写真・文  
福田 伸吉

ここ雲南省には、朝日と棚田を組み合わせて撮影できる代表的な所として、多依樹棚田があります。棚田の上段には展望台があり、年間を通して沢山のカメラマンが訪れます。この棚田では、冬でも雪が降ることは稀で、降ってもあまり積りません。この日は半日くらい雪が降りましたが、田んぼの中には水が入っているのですぐに溶け、民家の屋根に積もった雪も数時間で溶けてしまいました。

この地方の住居は独特な造りで、屋根は脱穀後の稲藁で葺き、キノコのような可愛らしい形をしています。



福田 伸吉 ふくだ しんきち

1944年群馬県生まれ。1968年から世界各地の蒸気機関車を撮り続ける。蒸機の終焉を機に2012年から棚田撮影に傾注。現在も日本・中国の棚田撮影を継続中。これまでに「蒸機」「棚田」を題材に11回にわたり個展を開催。日本中国写真芸術協会会員。東京都在住。

●最近の個展

- 2012年 「花蒼紅雪・中国SLの旅」オリンパスギャラリー東京
- 2016年 「美・日本の棚田」コニカミノルタプラザ
- 2017年 「稲掛・日本の棚田」オリンパスギャラリー東京
- 2019年 「雲上の棚田を往く」ポートレートギャラリー

●写真集

- 1987年 「蒸気機関車」大塚カラー印刷
- 1996年 「煙遊紀行・悠久なる大地の旅」Bee Books
- 1998年 「煙遊紀行II・世紀末世界を駆けた蒸機」Bee Books



小さな雪ダルマを作り  
喜ぶ子供



棚田・里山  
からの  
たより



## 大井谷の灯 地域に希望のあかりを灯す



1: 大井谷の棚田 / 2: 緑と石垣のコントラストが美しい / 3: オーナーの田植え / 4: オーナーの稲刈り

### 戦国時代、大内氏に仕える 三浦一族が開拓した歴史

大井谷地区は、古文書「吉賀記」によると今から約600年ほど前の戦国の頃、大内氏に仕えていた三浦重経の一族が未開のこの地に入り開拓したものとされており、連なった石垣の棚田とバックに見える山々との風景は絶景です。

大井谷棚田の古くは室町時代から藩政時代に築かれたもので、数百年の間、幾度も積み直しや補修を経て、最大時には17畝が耕作されていたと伝えられています。

苦勞の多い困難な大井谷の棚田を代々耕作し、600年間守ってきた人々の文化的な価値が高い評価を受け、1999年には「日本の棚田百選」に認定されました。

また、この地区では、20年前から集落の全戸で結成する棚田保全団体「助はんどうの会」が都市住民との交流による保全活動として、オー

### 島根県鹿足郡吉賀町 柿木村白谷 大井谷の棚田

ナー制度やトラスト制度に取り組み、多くの方の協力により棚田保全の活動を行ってきました。ちなみに、保全団体の名前になっている「はんどう」は水瓶のこと。谷の最上部にある岩の窪みに注ぐ水が、干魃の際に涸れずに住民を助けたという逸話によるものです。

### 高齢化と担い手不足で 困難に直面

しかし、近年では高齢化・担い手不足により耕作面積は4畝に落ち込み、棚田オーナーの受入れも困難になり、最大時に39組いたオーナー参加者も今年は15組。平成10年からつづけてきた秋の収穫を祝う棚田まつりは平成26年を最後に休止している状況です。

急速に荒れはじめた棚田をどうすればかつてのように蘇らせることができるのか、どうすればこの棚田を後世に残せるのか、地元では希望の灯りがどこかに無いものか模

索していました。

## きっかけは島根県内の 仲間との交流

島根県には「しまねの棚田ネットワーク」という組織があり、雲南市の山王寺や浜田市の室谷など、県内12地域の保全団体が平成22年から年一回集まって情報交換や現地視察などを行っています。今年(2019年)は、全国棚田サミットがお隣の山口県長門市で行われたこともあり、バスを仕立てて一緒に行ってきました。その際の交流会で、同じ仲間の取り組みを聞く機会がありました。

そこで縁があったのが島根県奥出雲町の追谷おくだの棚田です。

奥出雲町の一般社団法人地域活性化プロジェクト代表・田辺俊成さんから追谷の棚田でのライトアップによる地域おこしの話を伺い、高齢化・担い手不足で暗くなった集落をもう一度明るくするために、このライトアップイベントを大井谷の棚田でも挑戦してみようという話になりました。

## 棚田の灯りを希望のあかりに

奥出雲町追谷の棚田のご協力のおかげで、12月7日(土)の午後から地元住民とボランティアの総勢50名で、太陽光で発電するLEDライトを田の畦に3400本設置し、17時頃からライトアップの瞬間を祝うイベントを開催することができました。新聞に掲載されたこともあり、100人を超える人が来場し、地元の棚田工房お手製の豚汁や、ぜんざいで温まりながら、ライトアップの瞬間をワクワク、ドキドキしながら待ちました。

17時20分頃になると少しずつ設置したLEDライトが点灯し始め、全てのLEDライトが点灯した時、棚

田の等高線を美しく暖かな赤色と黄色の灯りが彩る美しい景観が広がっていました。

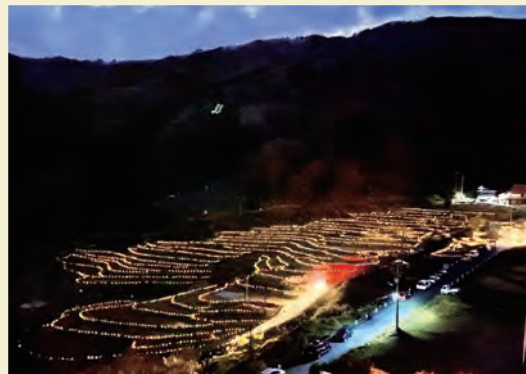
イベント来場者はもちろんですが、イベントを企画した助はんどうの会が一番驚き感動している姿に、多くの人が棚田保全活動を応援したいという気持ちになったと思います。

地元では来年もどうにかライトアップを実現させようという声があがっており、棚田だけではなく大井谷住民の心の中にも優しく暖かな希望のあかりが灯ったイベントとなったのではないかと思います。

大井谷棚田のライトアップは2月末まで行う予定です。18時頃からが見頃で、赤色の灯りと黄色の灯りが20分ごとに入れ替り、21時頃に消灯

します。ぜひ大井谷の幻想的な灯を見に吉賀町へお越しください。

(吉賀町産業課 糟谷通輔)



棚田のライトアップイベント



ライトアップイベント準備中の様子

## 棚田へのアクセス

**【公共交通】** 山口線青原駅前より広島駅行き高速バスに乗りし約25分の白谷橋バス停で下車、徒歩45分。広島駅新幹線口から益田行の高速バスも利用可能であるが、お勧めはレンタカー利用

**【自動車】** 中国自動車道六日市ICより国道187号線を北上し白谷橋バス停を左折するとすぐ。ICから22km

## お問い合わせ

吉賀町役場 産業課 tel : 0856-79-2213







ヨネの出番もとうとう最後になっちゃったわ~!最後に紹介するのは白米千枚田よ。

この棚田は能登半島の輪島市にあるの。世界農業遺産「能登の里山里海」に選定されているのよ。日本海に面した夕日の綺麗な棚田で一年中見学者が絶えないの。



オーナー制度は平成19年からでオーナー会員と地元農家の方との交流を大事にしているんだって。年会費は2万円で収穫米は10kgもらえる。ほかにトラスト制度もやってるよ。



2014年の夏から全国あちこちの棚田オーナー制度をみんなに紹介してきたけど、とうとう最後になっちゃったの。ヨネもちよつと寂しいけどまたいつか会いましょうね!次回からは新しい企画「棚田NAVI」が始まるらしいからヨネも楽しみにしてるわ!



ヨネちゃんの



ニッポン全国  
棚田オーナー制度紹介

第二十回

最終回

こちらもチェックしてみてネ!

棚田オーナー募集地域紹介サイト

棚田百貨堂 検索



広げよう  
棚田で  
社会貢献!

棚田を支える  
CSR活動への参加

株式会社ゼンリニータム 高野凌平

千葉県の川代棚田で「田植え→稲刈り」を体験しました。このイベントは社員研修の一環として企画されたもので、自然と接することが少ない日常とはかけ離れ、とても新鮮な体験となりました。

田植えは、履きなれない長靴で水田に入り作業を行いました。長靴が脱げてしまいどうにも力が入らず、結局長靴を脱ぎ靴下で田植え作業を行いました。布1枚越しの地面の感覚は、柔らかなスライムの上に立っているようで踏ん張ろうとするとすぐに転んでしまいそうでした。

稲刈りでは、中腰のまま使い慣れない鎌を手に、分厚く育った稲を必死に刈り取りました。地面は前回とは姿を変え、乾いてひび割れたデコボコな土となり、歩みを進める度に足の裏にじんわりと疲労感を与えます。

棚田ネットワークの方は笑顔で私達に指導してくれ、美味しいお米の話をしてくれる度に私たちも作業に熱が入りました。

便利なものが世の中に溢れる中で、伝統に做った今回の棚田体験は私達にモノづくりの大変さを教えてくれました。このような作業が、より簡単に行えるようなシステムや什器・設備を弊社事業から発展させ開発していきたいと思わせる。

同時に普段食べているお米をはじめ全てのモノに対し感謝を忘れないためにも棚田の保全活動は大切であり、単に地域活性化のためだけでなく、都市住民の憩いの場所としても盛り上がりつつ欲しいと思えました。



# 棚田博士 は 今日も行く!

## 中島峰広の 全国棚田行脚

### 和泉山地北麓 日根野荘の棚田

#### 大阪府泉佐野市上大木



なかしま みねひろ  
中島 峰広 (棚田博士)

早稲田大学名誉教授。学術博士。NPO  
法人棚田ネットワーク代表。全国棚田  
(千枚田)連絡協議会理事、棚田サミッ  
ト開催地選定委員会委員長。1933年  
宮崎県生まれ。早稲田大学教育学部地  
歴科卒。2004年まで早稲田大学教育  
学部教授。著書に『日本の棚田—保全へ  
の取り組み』『百選の棚田を歩く』『続・百  
選の棚田を歩く』『棚田 その守り人』(以  
上、古今書院)。現在、百選外の棚田に  
ついての執筆準備のため全国行脚中。

泉佐野市は大阪府南部、溜池が多  
く、タマネギの産地であるとともに  
タオル産業の盛んな町でもある。大  
木は市の南東端、紀の川市に接する  
山間地、樫井川に沿う河岸段丘上に  
ある集落であり、近くに犬鳴山温泉  
がある。地区は鎌倉時代から戦国時  
代にかけて九条家の荘園であった  
ことで知られていたが、2013年

日根荘大木の農村景観として国の  
重要文化的景観に選定されたこと  
で棚田も注目されるようになった。

2019年6月中旬、大木を訪ね  
た。新幹線新大阪駅から特急くろし  
お号に乘車、関西空港への分岐点で  
ある日根野駅で下車する。東口駅前  
からは南海ウイングバス南部の犬  
鳴山温泉行きのバスが平日17便、土  
休日でも13便運行されており、途  
中の上大木のバス停で下車すれば、集  
落の背後に棚田が広がっている。そ

の経路は駅前から直進、駅前交差点  
を左折、府道30号に入る。白水池東  
交差点を右折、府道247号を犬鳴  
山温泉に向かって東進する。土丸の  
交差点で左の道、府道62号に入り、  
南下すれば大木に至る。

#### 干天に備える用水路と溜池

大木は、市の中心部から山に向  
かって下大木、中大木、上大木にわ  
かれるが、文化的景観としては上大  
木の東ノ池周辺の棚田地域が最も  
重要な農地部分になっている。棚田  
は山際に築かれた溜池東ノ池と集  
落の家屋に囲まれるようにして分  
布、中央部に面積が10㍓前後の田が  
3枚ほどあり、その周りを面積が1  
〜2㍓程度の小さい田が取り囲ん  
でいる。傾斜10分の1の比較的緩い  
斜面にある棚田だ。溜池に並ぶ山際

は10段前後の棚田が形成されてい  
るが、1枚の面積は1㍓前後と小さ  
く、法面は1㍓に満たない高さの石  
積みである。

用水は東ノ池に依存し、その池の  
水は犬鳴山温泉近くの樫井川から  
長さ2キ近く及び宇字工で引水  
されている。代掻きの水として使わ  
れ、梅雨時の水を貯めて梅雨明け十  
日の干天に備える。春の「溝の洗い」  
は、集落内の道路の整備を行う「月  
見の人足」とともに、農家、非農家  
に拘わらず集落総出の作業となり、  
参加できなければ出不足金として  
4500円が徴収される。

この棚田に接する南側には東ノ

池周辺の棚田より広い面積を占める棚田があるがすべて放棄され、雑草の茂る荒地になっていた。時々草刈だけは行われるのか、樹木が繁茂するほどにはなっていないかった。

## 集落には空き家が目立つ

上大木の集落は約50戸、そのうち12戸は空き家、農業を継続しているのは20%程度、それもすべてが兼業農家である。飯米確保を目的として20<sup>㍗</sup>前後の水田を耕作し、地元でタオル関連の企業に勤めるか、JR日根野駅もしくは南海電鉄の泉佐野駅から大阪方面に勤めに出ている。泉佐野駅から難波までは特急で30分ほどの時間距離である。

## 棚田を支える守り人

地元では3人の棚田の守り人であった。まず現在上大木の町会長を務める植野慶憲さん70歳、同じ年の奥さんと自立している90歳の母親との3人家族。父親の代までは山林農家といえるような暮らし。小面積の水田経営で飯米を確保し、山林のヒノキ・マツ、畑と水田の裏作として栽培するタマネギ、田植え休みの寄り合いで入札が行われる入会地でのマツタケ・タケノコ・ヤマイモ・サカキなどの林産物の採取・販売などで暮らしが成り立っていた。本人は高校卒業後、地元のタオル関連の企業に就職、60歳の定年まで勤務。営業担当で北海道から九州ま

で車で廻っていたという。50歳の時父親がなくなったが、それまでは父親を手伝い、それ以後は自らがすべての作業を担う兼業農家になった。現在は水田20<sup>㍗</sup>、5枚を所有、耕耘機、歩行型5条田植機、バインダーを使用して耕作、収穫された米は自家消費と縁故米として処理される。3<sup>㍗</sup>ほどの畑は自家菜園として利用されている。町会長は2年任期で現在2期目を務めているが、仕事量が多いにも拘わらず、週3回程度旧職場のタオル会社でも働いているそうだ。

かつて蓮華寺であった集會場で休んでいる時に会ったのが河原茂三さん72歳、奥さんと二人の世帯。高校卒業後、大阪の製紙問屋に勤め

たが、40歳で退職、その後は独立して食品関係の会社を経営している。その間一貫して農業に携わってきた兼業農家、現在下大木の圃場整備した水田30<sup>㍗</sup>をトラクター19馬力、乗用4条田植機で耕作、収穫は作業委託しているという。

現在、下・中・上大木を受益地とする大木土地改良区の理事を務めている。土地改良区では11の堰と11の池を管理しており、それぞれから理事が選出され、自身は長地毛溜池の担当だそうだ。水利費は20<sup>㍗</sup>を耕作する植野さんの場合7000、8000円程度というから、かなり高額といえるのではないだろうか。

最後に会ったのが長老クラスの河原三三さん76歳、奥さんと二人だ



1：豊かな里山に囲まれた上大木集落／2：棚田を囲むような集落／3：低い石積み棚田が多い／4：自家用野菜畑／5：左から河原三三さん、植野慶憲さん



けの世帯。

高校卒業後大阪市内の企業に入社、定年まで勤めた後、数年前まで地元の採石場で働いていた。44歳の時に父親が亡くなってからは農作業も担う兼業農家になった。現在は水田25㍓、5枚をトラクター22馬力、乗用4条田植機、乗用2条刈コンバインで耕作しているが、飯米確保が目的という。

## 「お散歩カフェ」に600人の参加者

集落の取り組みとしては5月中旬に行われる「お散歩カフェ」がある。これは文化的景観の選定を受けたことを契機にして、中世の荘園の

雰囲気を持つ大木の農村景観を楽しんでもらおうという企画であり、来訪者に蓮華寺跡の集会所でおにぎりや地元の名産ミズナスなどを供するもてなしを行っている。このため大木の上・中・下の町会長のほか市の職員などが接待に当たっており、今年には600人の来訪者があったそうだ。

## 荘園由来の雰囲気を残す 棚田集落

訪問を終えての印象は、山間の小盆地にある農村集落は荘園由来の雰囲気をもち、集落内の棚田もほとんど耕作放棄もなく、よく管理されている。しかし、住民の多くは70歳

以上の人たち。すなわち現在棚田を耕作する担い手は3人の守り人のように都市部に勤めに出て、長男として家に残り、兼業農家になって頑張ってきた人たちである。だが次の世代の子供たちは長男を含めほとんど集落に残っていない。その現状を考えると、何らかの施策を考えると、十数年後には集落背後に広がる耕作放棄地に呑み込まれてしまつのではないかと、危惧されることである。



南側に広がる荒廃棚田



1：取水口／2：山際に築かれた溜池・東ノ池／3：2kmに及ぶ用水路

### 日根野荘の棚田へのアクセス



【公共交通】 阪和線日根野駅東口から南海ウイングバス南部の犬鳴山温泉行きバスに乗り換えバス停上大木で下車徒歩10分。バスの所要時間は約15分

【自動車】 関西空港自動車道・上之郷ICより県道248、247号線を経由し、県道62号線の上大木交差点を左折するとすぐ棚田が見えてくる。ICより7km

第25回となる全国棚田(千枚田)サミット、会場は山口県長門市。大型台風19号が本州に接近中で、空港も鉄道も高速道路も東日本を中心に軒並み計画運休の予告。これは大変、まずは東京を抜け出し台風の影響が少ない西日本まで行こうと、予定を一日早めてぎゅう詰めの新幹線で出発したのがサミット前々日の2019年10月11日金曜日。広島で一泊し原爆ドームと平和資料館を見学して、部分的に運転している山陽新幹線で新山口へ。そこから長門市へ向かう送迎バスの中では、どうやってここまで辿り着いたかの武勇伝があちこちで。

会場に到着後、棚田連絡協議会総会までのわずかな空き時間を利用してみすず記念館へ。金子みすず、長門市出身の夭折の詩人、「みんな違ってみんないい」は知られてますね。

夕5時から開かれた総会と懇親会では、再び東日本方面からの参加者に「いつ出発した?」「どうやって着いた?」の質問が。直前キャンセルせざるを得なかった大勢の仲間に思いを馳せるサミットになりました。

翌朝、サミット初日の開会式はいつも増して来賓が多く挨拶も多い。まあ安倍昭恵首相夫人が最前列に座っているのだから当然のなりゆきか。

基調講演、事例発表、昼食。午後は「自主分科会・棚田地域振興法の取り組み」に参加。急遽決まってプログラムにも載っていない分科会にもかかわらず、参加者50人を超え、用意した資料が足りなくなるほど。農水省中国四国農政局の松本部長の法内容説明と、棚田ネットワーク中島代表の進行。



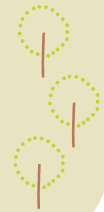
左上:東後畑の棚田/左下:自主分科会/右:棚田でハーブを

出来たてホヤホヤの法律には、耳慣れない「旧旧市町村」とか「急斜地加算との重複」などの言葉。それでも、保存会や各地方自治体職員の方たちは真剣に耳を傾け熱心に質問していました。「棚田を貴重な国民的財産」と初めて規定した、省庁横断型の、棚田保全のための法律。注目し応援していきたいです。

翌日は現地見学会。私はもちろん東後畑の棚田へ。風が強い。溜め池が多い。耕作されていない田も目立つ中で、何とか頑張っている地元の方たちの説明。ハーブを育てて特産品を生み出そうという新しい動き。おいしいハーブティーやお団子のおもてなしをいただき、コスモスの花や宙を舞うシャボン玉の歓迎に嬉しいひとときでした。

次の開催地は山形県大蔵村。無事の開催と再会を願っています。

会  
員  
の  
ひ  
ろ  
ば



会  
員  
の  
声  
募  
集  
!



「こんな活動をしています」「こんなことやります」という皆さんの声を編集部までお寄せください!ご要望、感想やご質問でもOK!(会員の声800字まで、会員レポート400字まで、写真も添えて)〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-18-16 トーシンハイム704号「棚田に吹く風 会員のひろば」宛 メールでも受け付けています ↓ [hiroba@tanada.or.jp](mailto:hiroba@tanada.or.jp)



会員さんの  
Best Shot!

会員のみなさんの  
ベストショット募集!!



みなさんが撮影した棚田や作業風景の写真など、ベストショットをコメント(70文字程度)を添えて編集部まで送ってください。毎号、紹介させていただきます!送り先は下記。

〒160-0023  
東京都新宿区西新宿7-18-16  
トーシンハイム704号  
「棚田に吹く風 ベストショット」宛  
メールでも受け付けています  
⇒ [hiroba@tanada.or.jp](mailto:hiroba@tanada.or.jp)



丸山千枚田の夜景

三重県熊野市 北 富士夫

熊野古道「とおり峠」の途中から少し急な山道を登ると、千枚田が一望できる見晴台があります。5~6人で一杯になりますが、お勧めのビューポイントです。



棚田ラバーズフェスで命の大切さを伝え、  
棚田のすばらしさを知っていただくきっかけに

NPO法人 棚田ラバーズ(兵庫県市川町) 永菅 裕一

市川町の棚田を未来の子どもたちにつなげるためには、農業者、応援者を増やしていく必要があります。そのためには、まずは棚田の魅力を伝え、棚田がもたらす環境・農・食に関心を持っていただくことが大切です。

そのきっかけとして、音楽や踊り、棚田の恵みを活かした食、いやしなどを通じて、環境・食・農の大切さを伝えるフェスを2019年10月27日(日)におこないました。都会在住の方や若い方々など、はじめて市川町に来る方でも気軽にご参加いただきました。棚田がなくなることや棚田の魅力を伝え、環境、農や食に関心を持って頂き、棚田を保全する実践者・応援者を増やし、未来の子どもたちにつなげていきました。



NPO法人棚田LOVER'sの活動にご興味がある方はぜひご連絡ください。

- 電話：090-2359-1831
- メール：tanadalove@yahoo.co.jp

こちらでも応援者を募っています。  
<http://www.giveone.net/cp/PG/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=10569>



編集部イチオシ! BOOK & MOVIE

うつくいくらしかた研究所 編集  
1,400(+税)  
平凡社  
2013年11月



『くらしのごよみ七十二候の料理帖』

棚田ネットワークの『旧暦棚田ごよみ』でもおなじみの「二十四節気・七十二候」。この本では、5日ごとに変わる七十二候に合わせた旬の食材と料理を紹介しています。したがってレシピの数も72個。「毎日料理を作るのはなかなか難しいけれど、5日というべんぐらいなら…」というくらしの人にオススメのレシピ本です。3〜5ステップのシンプルな作り方で紹介。和食に偏らず、和洋中、エスニック…いろいろな調理法で旬の食材を使った料理を手軽に楽しむことができます。四季折々の食材についてもやさしいイラストとともに解説。読み物としても楽しい。



『人類は噛んで進化した』  
歯と食性の謎を巡る古人類学の発見



ピーター・S・アンガー 著  
河合信和 翻訳  
3,000円(+税)  
原書房  
2019年8月

飽食の時代を生きる私たちにとって、健康や環境、そして人類の持続的な繁栄を考える上で何を食へべきなのかという問題が活発に議論されている。そもそも人類の食性ってなんだろう。ヒトは何を食べて進化してきたのか。本書は巨大な大白歯を持つ早期ヒト族の食性にフォーカスし、歯と顎、咀嚼に注目して人類進化を説明しようとしている。そして歯の摩耗痕や骨の炭素同位体比などの追求から、複雑な自然界の環境に合わせて進化してきた人類の食性の多様性を垣間見せてくれる。

# 棚田へおいでよ!

毎年恒例の、環境展示イベント「エコプロ2019」が12月5日～7日の3日間にわたり東京ビックサイトで開かれました。今年も棚田共同展示コーナーを設置。たくさんの関係者の方々に参加いただき、棚田と地域のPRに取り組んでいただきました!

# エコプロ2019

2019年12月5日(木)～7日(土)

## 出展レポート



### 日本の棚田共同展示コーナー

東京ビックサイト西館1Fの広いスペースに棚田の幟旗が並ぶ光景は目を引きまします。全国棚田連絡協議会とNPO法人棚田ネットワークの呼びかけに応じ出展した全国13の棚田関係団体が一堂に集まったのが「日本の棚田共同展示コーナー」です。

### ブースとクイズラリーは大人気

軒を連ねる13のブースでは鮮やかな法被姿で自慢の棚田の解説や特産品の販売に熱が入る。特にクイズラリーに参加した都市住民との間で名刺交換する姿があちこちで見られ交流が図られていました。各ブースの売り上げも上々とのことです。

### お酒コーナーは

棚田米を基に趣向をこらした10地域の地酒が出品されました。1杯100円で試飲できる味比べ「棚田酒角打ち」は人気で、昨年を大きく上回る参加者でシールボードも貼り切れないほどの盛況。地酒を通じた棚田談議に花が咲き交流できました。

### ステージでは

毎年出演の鴨川現代バレエ団の「里舞ミニ公演」はスペースを埋め尽くす来場者でいっぱい。カメラやスマホで撮りSNSで発信する光景が印象的でした。その他、紙芝居やアイガモロボも大人気でした。





## 千葉県鴨川市

### 川代棚田でお米づくり

#### 収穫時期に台風の襲来



鴨川市川代棚田での農作業体験も今年も無事終了。ほっとした矢先、台風15号及び19号の襲来により風水害や長期停電など川代地区でも多くの被害にあわれた方がおられ、改めて自然の恐ろしさを実感しました。心よりお見舞い申し上げます。幸い棚田は稲刈りも終わり脱穀直後だったため、収穫米は無事オーナーに届けられ、10月6日には収穫祭も予定通り実施されました。

今年は、一般会員とともに企業研修として(株)ゼンリンデータコムの入社2年～3年目の社員を対象に行い、多くの参加者の協力のもと無事終了しました。関係者の皆さま大変ありがとうございました。1人でも多くの方に棚田保全の大切さや棚田の魅力を体験していただくよう引き続き創意工夫を続けていきたいと思ひます。  
(杉山 行男)

## 岐阜県恵那市

### 棚田ビオトープ プロジェクト

#### 稲刈り／「棚田でキャンプ」を見学



9月28日秋晴れの中、棚田ビオトープの稲刈りを行いました。3名(大人2名、子供1名)の参加がありました。地元の方の協力もあり、小さな水田ですので、1時間15分で終了、これまた小さなはさ掛けを作りそこに刈った稲を干しました。

七十二節気の「熊蟄穴」の12月15日に棚田ビオトープの様子を見に行くと、ちょうど「棚田でキャンプ」というイベントをやっていました。冬のキャンプは寒さ対策が重要とのこと、テントの中にテントを張ったり、小さな薪ストーブをテントの中に設置したりと工夫をしていました。次回の「棚田でキャンプ」は12月30日～1月1日開催だそうです。

春の水溜りにヤマアカガエル等の卵塊を探す「第13回かえるの卵を探そう!」は3月20日(金祝)に開催予定。毎年、この日に卵を産んでくれるか心配ですがぜひとも参加を。(相田 明)

## 静岡県松崎町

### 石部棚田で昔ながらの米づくり

#### 今年もできましたよ～!



10月5日(土)、6日(日)と稲刈りを行いました。2日間ともお天気はますます、参加者たちでおしゃべりをしながらのんびりした稲刈りになりました。毎年参加してくれている子どもたちも年々上達しうまいもんです!時折出現するカニや、昆虫、稲の中にできたカヤネズミの巣に驚いたり、観察したりしながら作業を楽しみました。今年の稲の出来はというと、ますますだと思ひますが刈り始めると少々稲が細いように感じました。そしてハザ掛けも無事終わりあとは乾燥を待つばかりと思つたのもつかの間、なんと台風19号が伊豆半島直撃の予報。未乾燥のまま保存会の皆様が急遽脱穀回収。そして再び海岸で籾を広げての乾燥と大変な手間がかかったそうです。保存会の皆様、今年も本当にお世話になりました。そして作業参加いただいた皆様ありがとうございました。  
(久野・高桑)

全国棚田(千枚田)検索サイト

# 棚田NAVI

2020年春  
**OPEN!**  
(予定)



全国の棚田情報がキーワード検索できる『棚田NAVI』が2020年春にオープンします。地域はもちろん、オーナー制度、ライトアップ、棚田カードなどニーズにあったキーワードで絞り込み検索もできる業界初の棚田データベースサイトです。棚田の特色や基本情報ほか、GoogleMapとの連動でアクセスも早わかり。地域情報などは関連サイトへのリンクもありポータルサイトとしての機能も充実させていきます。まずは50地域でオープンし、随時全国の棚田を網羅していきます。ご期待ください!

<https://tanada-navi.com>



## わたしたちと「棚田の応援団」やりませんか!

棚田ネットワークは「棚田の保全に協力したい!」という会員によって自主的に運営されているNPOです。消えゆく美しい「棚田」をどのように保全していくことができるのでしょうか?一緒に考えませんか?ぜひ、私たちと棚田の応援団になりましょう!

会員になろう!

年会費

私たちは、会報誌「棚田に吹く風(年4回)」やホームページで豊富な棚田情報を発信しています。会員になりこれらの活動に参加してみませんか?

- 個人会員
  - 維持会員 1口1万円(1口以上)
  - 一般会員 4,000円
  - 応援会員 3,000円
  - 学生会員 2,000円

### 法人会員を募集しています!

私たちは、棚田を守るため、農山村の人々と都市住民双方の協力のもとに様々なプログラムを企画・運営しています。これらの社会貢献活動に賛同し、ご支援いただける企業・団体・事業主様を募集しています。詳細はお問い合わせ下さい。

年会費

- 法人会員(賛助会員) 1口3万円(1口以上)

2012年より当会の事務局スタッフをしている内田千鶴さんの挙式が、10月27日に東京椿山荘にて行われました。そしてなんとご結婚相手は「棚田さん」!冗談のようですが、これがほんとの話なのです。偶然出会って好きになった人が「棚田姓」だったという奇跡のような棚田ラブストーリー。当会のメンバーも多数参列し、中島峰広代表と高桑智雄事務局長が棚田スピートで盛り上げ、会場は「棚田棚田」のオンパレードでも素敵な披露宴になりました。晴れて棚田になった千鶴さん、本当におめでとうございませう。そして「棚田に千の鶴が舞い降りる」ように、これからも棚田での活躍を期待しております!

編集部から

## ホームページの姿を見て!

棚田ネットのWebサイトも見てみてください!



<https://www.tanada.or.jp>



2020年 冬号 Vol.114

発行 認定NPO法人 棚田ネットワーク

〒160-0023  
東京都新宿区西新宿 7-18-16 トーシンハイム 704 号  
Tel / Fax 03-5386-4001  
e-mail : info@tanada.or.jp URL : www.tanada.or.jp  
郵便振替口座 : 00100-7-151565